

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 5 月 19 日 (2016.5.19)

【公開番号】特開 2016-43389 (P2016-43389A)

【公開日】平成 28 年 4 月 4 日 (2016.4.4)

【年通号数】公開・登録公報 2016-020

【出願番号】特願 2014-170139 (P2014-170139)

【国際特許分類】

B 2 1 B 27/00 (2006.01)

C 2 2 C 37/00 (2006.01)

【F I】

B 2 1 B 27/00 C

C 2 2 C 37/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 4 日 (2016.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圧延用複合ロールの外層材であって、

質量％にて、C：1.8％以上 2.5％以下、Si：0％を越えて 1.0％以下、Mn：0％を越えて 1.0％以下、Ni：0％を越えて 0.5％以下、Cr：3.0％を越えて 8.0％以下、Mo：2.0％を越えて 10.0％以下、W：0％を越えて 10.0％以下、V：0％を越えて 10.0％以下、B：0％を越えて 0.01％未満、残部 Fe 及び不可避免的不純物を含んでいる圧延用複合ロールの外層材であって、

溶融温度が 1100 より大きい二次共晶炭化物を含んでいる、
ことを特徴とする圧延用複合ロールの外層材。

【請求項 2】

質量％にて、Nb：0.01％以上 2.0％以下及び / 又は Ti：0.01％以上 1.0％以下をさらに含有する、

請求項 1 に記載の圧延用複合ロールの外層材。

【請求項 3】

外層材表面における B 濃度の質量％を B(t1)、外層材内面における B 濃度の質量％を B(t2)としたとき、B(t2) - B(t1) 0.002 である、

請求項 1 又は請求項 2 に記載の圧延用複合ロールの外層材。

【請求項 4】

外層材表面は、MC 型炭化物の面積率が 7％～15％である、

請求項 1 乃至請求項 3 の何れかに記載の圧延用複合ロールの外層材。

【請求項 5】

外層材表面は、前記二次共晶炭化物の面積率は 1％～6％である、

請求項 1 乃至請求項 4 の何れかに記載の圧延用複合ロールの外層材。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 の何れかに記載の外層材を外層とし、該外層材の内側に内層又は中間層と内層を具える、

圧延用複合ロール。